

公益財団法人日本ソフトテニス連盟 中期財務方針

1. 基本方針策定の背景と前提

近年における人口動態の変化や新型コロナウイルス感染症の影響等により、本連盟の財務基盤は悪化し、徹底した支出削減努力にもかかわらず2025年度には登録料改定に至った。本中期財務方針は、このような状況下で持続可能な組織運営とソフトテニス競技の発展を目指すため、今後数年間の財務運営に関する基本的な考え方を示すものである。

2. 中期財務方針

上記の現状認識と前提事項を踏まえ、本連盟は以下の財務方針に基づき健全な財政運営を推進する。

- (1) **収支均衡と事業規模の維持** 単年度での収支均衡を基本とし、極力現行の事業規模の維持を目指す。ただし、社会情勢の変化に応じ、事業規模の見直しや効率化を適宜検討する。
- (2) **収入構造の転換と多様化** 主に中高生に依存した従来の登録料収入から、社会人を中心とした登録料収入に加え、スポンサー収入を重要な柱とする構造への転換を図る。また、審判資格や技術等級の認定料等についても、その意義や対価に見合った見直しを進める。
- (3) **重点領域への資源配分と効率的な支出** 限られた財源を有効活用するため、以下の重点領域に資源を配分し、既存事業の支出効率化を図る。
 - **大会企画・広報・マーケティング:** ソフトテニスの注目度向上、新たなファン層の開拓、スポンサー収入の拡大を目指し、予算を増額する。魅力的な大会企画の構築と実施や、効果的な広報戦略、ターゲットを絞ったマーケティング活動を展開する。
 - **大会運営:** 大会を複数の層に分け、本連盟からの関与度合いを明確化することで、効率的な運営体制を構築する。財政状況に応じて、大会開催規模や運営体制を調整する。
 - **強化活動:** 登録会費収入の増減に合わせ事業規模を適切に調整する。効率的かつ効果的な育成プログラムを開発・実施する。
 - **国際活動:** 競技力向上のみならず、ソフトテニスの持つ多様な価値観を国際社会に広めていく社会活動と位置づけ、予算を増額する。国際競技大会での序列のみを追求するのではなく、国際交流や相互理解の促進を重視する。
 - **普及振興:** ソフトテニスの普及と振興は、会員増加と競技力向上に不可欠であり、予算を増額する。地域社会との連携を強化し、多様な層がソフトテニスに触れる機会を創出する。
 - **事務局業務、組織運営、その他:** 日本連盟および支部を含めた運営基盤の強化を図りつつ、テクノロジーを積極的に活用することで業務の効率化を図り、運営コストの削減を目指す。
- (4) **今後強化する活動** 具体的な活動内容は今後の検討課題とするが、ソフトテニスの新たな価値創造や社会貢献につながる活動を積極的に検討し、必要な予算を確保する。

3. むすび

本中期財務方針に基づき、公益財団法人日本ソフトテニス連盟は、変化する社会情勢に柔軟に対応し、健全な財政基盤を確立することで、ソフトテニス競技の持続的な発展と普及に貢献する。

会員各位、関係各位のご理解とご協力をお願いしたい。



公益財団法人日本ソフトテニス連盟